

学校運営委員会だより No 6

<第5回学校運営委員会報告>

1 日時 令和8年3月12日(木) 10時00分～11時00分

2 出席者 志賀、柏葉、山崎(PTA)、山崎(学校支援CO)、校長、副校長

3 内容

(1) 学校長挨拶

年度末を迎え、今年度最後の運営委員会。4月からは名称も変わり、学校運営協議会となります。

(2) 運営委員長挨拶

これまで学校運営委員として携わり、力になれたことをうれしく思う。今年度最後の委員会もよろしくお願ひします。

(3) 学校の教育活動報告と令和8年度学校経営方針

- ・学校支援コーディネーターの山崎さんのおかげで、地域連携行事がたくさん実現した。
- ・今年度、初めて学習発表会を実施した。1年生は自身の成長、2年生は地域、3年生は染め物、4年生はビオトープ、5年生は三茶太鼓、6年生は地域のよさと課題をテーマに学習してきたことを2月21日(土)に発表会をした。
- ・25日(水)には駒の学び舎合同研修会を実施した。本校の教員が校内研究で取り組んできたことを他校に紹介した。
- ・各学年最後の保護者会を実施した。
- ・教員が1名、3月いっぱい病気休暇を取得。担任を常川主幹教諭が代行している。
- ・今、子どもたちは大変落ち着いている。怪我がないように廊下歩行の徹底等、安全な生活を全教員で呼び掛けている。
- ・昨日は登校中の大規模地震発生を想定し、避難訓練をした。実際の震災では、登校できていない児童の安否確認が難しくなることを実感した。日頃から、校帽の着用徹底や通学路と時間を守った登校を指導していきたい。
- ・家庭内に不安を抱える子がいる。学校でも相談体制を整えていくが、解決に向けては外部機関との連携が必要である。
- ・3月7日(土)おやちの会主催のうどん作り体験を実施。

(令和8年度 学校経営について)

～学校運営協議会制度の手引き 参照～

～令和7年度 学校関係者評価報告書 参照～

～令和8年度 学校経営方針(案) 参照～

(4) 学校支援地域本部より(山崎)

- ・2月6日、1、2年生を対象に「昔遊びを楽しもう」の実施があり、地域の方や卒業生に声を掛けて講師役をお願いした。人探しに苦労したが、町会のつながりで見付けることができた。9名の方を集め、けん玉、駒、あやとり、お手玉のコーナーを子どもたちに楽しんでもらった。じっくりと昔遊びに向き合う時間が確保できていて、講師役のみなさんにも好評だった。
- ・3月4日に6年生対象の茶道体験のお手伝いをした。地域のお茶の先生とお手伝いさんが来てくださり、1～5時間の間に6グループが順番に体験することができた。茶室に飾る掛け軸や本格的な茶器、お花など準備いただき環境も五感で茶道を楽しめる

ものにしてくださった。「茶せんはどこで買えますか?」「なぜたたみのへりを踏んではいけないのですか?」など素直に感じた疑問をたくさん質問していて、いい時間だった。

(4) その他

(山崎) 一年間、お世話になりました。ありがとうございました。

(月村) 子どもたちの間で流行っているシールに関連した問題が他校で聞こえてきている。三茶小でもきっとシールをめぐるいろいろなやりとりがされていることが推測できる。周囲の大人でアンテナを高くして、見守っていく必要がある。地域の課題を話し合う会合で、地域の活性化、安全なまちづくりについて検討が進んでおり、未来を担う子どもたちのためにこれからも力を入れていきたい。

(柏葉) 大田区でもコミュニティスクールが進んでいる。今までの学校運営委員会は報告事項がメインだったように思うが、これからの学校運営協議会は、地域と保護者、学校で協議し、どうしていけばより良い学校、より良い地域になるかを検討していくことになるのかと思う。学校運営協議会は地域と共にある学校づくりを中心になって進める機関で、合議機関となる。学校経営方針などもこの機関の承認を得て成立となるのが前提である。

(志賀) 私自身は今年度で最後である。一つ思うことは、教員のやるべきことが多すぎると感じる。肝心な子どもと向き合うことがおろそかになってしまうことを危惧している。10年スパンで技術革新は進み、世の中はめまぐるしく変わる。その変化に教育分野が右往左往しては、子どもの教育に悪影響が出るのではないかと心配になる。新年度、新しい組織になるがみんなが幸せになる学校、地域になることを願っている。